



## 末梢血幹細胞採取後、不整脈(発作性心房細動)の診断を受け、不整脈治療(カテーテルアブレーション治療)のため、カテーテル手術した事例について

公益財団法人日本骨髄バンク  
理事長 齋藤 英彦

本年3月に、非血縁者間末梢血幹細胞採取後、発作性心房細動との診断を受け、カテーテルアブレーション治療を施行する予定となった事例が報告され、緊急安全情報を発出しました。

その後、本年4月に採取施設にてカテーテルアブレーション治療が施行され、外来でフォローアップがなされていましたが、9月末をもって治療は終了しました。

今回の事例について検討した結果、発作性心房細動を発症した原因等について直接的な関係性はないと思われませんが、断定することはできませんでした。

ただし、もともとドナーご自身に素因があった可能性は否定できません。

当法人では、各施設に対して情報共有の観点から、「安全情報」を発出いたしました。

### <参考>

#### ◆ 発作性心房細動

自覚症状として脈の乱れ、動悸、胸部不快があります。

放置すると心臓内に血栓ができて、脳梗塞などの血栓症の原因となります。

#### ◆ カテーテルアブレーション治療

不整脈の代表的な治療方法であるカテーテルアブレーションは、アブレーション治療用のカテーテルで不整脈を起こす原因となっている異常な電気興奮の発生箇所を焼き切る治療法です。

不整脈の種類にもよりますが、手技時間は大体2時間～4時間ほどで、体に負担がかからないよう、局所麻酔や静脈麻酔で行われます。

### <報道に際してのお願い>

・プライバシー保護のため、ドナーや施設についてこれ以上の情報はお伝えできませんのでご了承ください。

・骨髄バンクでは本件も含め、ドナーのリスク情報について情報開示に努めています。ただし、重大な事態が起こる危険性が必要以上に強調されますと、現在進行中のコーディネートがキャンセルになるなど、患者さんの生命に関わる可能性もあります。慎重な報道をお願いします。

#### ■本件に関するお問い合わせ:

公益財団法人 日本骨髄バンク ドナーコーディネート部:

折原、橋下、杉村

電話:03-5280-8111(代表)